

遠藤周作学会会報

第8号

2013年10月12日

発行 遠藤周作学会

代表 笠井 秋生

二〇一三年度遠藤周作学会・全国大会
総会報告
事務局より

◇第八回二〇一三年度遠藤周作学会・全国大会開催

第八回二〇一三年度遠藤周作学会・全国大会は、二〇一三年九月二十一日（土）に、慶應義塾大学にて開催された。

運営委員会が十二時より行われた後、十三時二十分よりノートルダム清心女子大学の山根道公氏より開会の辞が述べられ、総会が行われた後、以下プログラムのとおり研究発表が行われた。続いて、作家・三田文学編集長、加藤宗哉氏による講演が行われ、その後、関西学院大学、細川正義氏より閉会の辞が述べられた。

大会進行役は名桜大学の小嶋洋輔氏、及び、文芸評論家の今井真理氏が担当した。

プログラム

【研究発表】

① 「白い人」論

——無神論者の書く「神」の影——

関西学院大学大学院博士課程後期課程 北田雄一

司会 京都外国語大学 長濱拓磨

② 「黄色い人」における第一エピソードについて

昭和女子大学 笛木美佳

井上万梨恵

司会 星美学園短期大学 武田秀美

③ 遠藤周作『深い河』の美津子における

性と信仰の関係

同志社大学神学研究科博士前期課程 増田斎

司会 上智大学キリスト教文化研究所

兼子盾夫

④遠藤周作の創作方法に見る神学的意図

——神学の方法と形態の可能性をめぐって

清泉女学院大学 古橋昌尚

司会 上智大学 片山はるひ

【講演】

⑤遠藤周作と三田文学

作家・三田文学編集長 加藤宗哉

【総会】

総会は、議長に柴崎聰氏を選出して開かれた。まず、二〇一二年事業報告がなされた。内容は次のとおり。

◆ 第七回二〇一一年度遠藤周作学会・全国大会を京都外国語大学にて開催。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』第六号発行。

第六回遠藤周作学会の発表者四氏に加え、笠井代長及び、兼子盾夫氏の投稿論文及び、宮坂覺氏の書評。笛木美佳氏による二〇一二年遠藤周作参考文献目録及び研究展望も収録。

◆ 会員数は、二〇一三年九月時点で九十一名。二

〇一二年度の新会員は十一名。

次に、事務局より二〇一二年会計報告が行われ、太原正裕氏により監査報告がなされ、承認された。

続いて、事務局より二〇一三年度事業計画について示された。内容は次のとおり。

◆ 名簿配布について、個人情報保護への配慮について明記することで、継続する。

◆ 遠藤周作事典の企画について、遠藤周作没後二十年の刊行をめざして、川島副代表を中心に企画を進める。

◆ 第八回二〇一三年度遠藤周作学会・全国大会を慶應義塾大学にて開催。会員三十八名、聴講者約四十名の参加があったことが報告された。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』次号（第七号）は、今回の発表者の原稿と加藤宗哉氏の講演原稿を掲載予定。募集要項等はこれまで通り。

◆ 本学会に韓国日本キリスト教文学会二〇一四年度大会（大会主題・遠藤文学）への協力の要

請があつたのを受け、本学会では、全国大会については従来通り日本で開催し、韓国の大会には本学会から希望者が参加するという形で協力することになった。日本から参加しやすい日程への配慮を要望する。

◆ 二〇一三年度の大会は、白百合女子大学で、二〇一四年九月二〇日（土）に開催予定。

最後に関西学院大学の細川正義氏の閉会の辞をもつて全国大会の日程を終了した。約四十名が懇親会会場のフアカルテイクラブに移動し、新会員や発表者、講演者の挨拶が行われ、始終和やかな交流が行われた。

■ 事務局より

▼第八回遠藤周作学会・全国大会は、遠藤周作の母校である慶應義塾大学で開催することができました。参加者は会員三十八名に、聴講者が約四十名加わり、遠藤周作生誕九十年の記念の年にふさわしく大変盛会でした。この開催のためにご尽力くださいました、作家で三田文学編集長の加藤宗哉氏には改めて御礼申し上げます。

▼今回の大会の研究発表は、大学院生二名の充実した作品論と、発見された新資料に基づく発表、神学的視点からの発表と、今回も多様な視点から遠藤文学に迫る、遠藤周作学会ならではの活気のある発表の場となりました。今回は発表募集への応募者が八名と多く、できるだけ多くの発表ができるように、全体の発表時間が会場の都合のため、例年より短い中に四名の発表を入れ、一人の持ち時間が二十五分と短くなったため、発表者は豊富な内容を凝縮して発表するのに苦心されたようでした。今後、充実した内容が機関誌にまとめられますことを楽しみにしています。

また、加藤宗哉氏の講演では、三十年間遠藤周作と師弟関係にあつた氏ならではの、三田文学に関係する話と共に、永井荷風や小林秀雄等との関係も研究して欲しいとの課題が与えられ、大きな刺激を受けました。

▼機関誌「遠藤周作研究」第七号の投稿論文を募集します。機関誌の最後にある投稿規定をご覧のうえ、会員の方々の意欲的な投稿が多く寄せられることをお待ちしております。

▼ 次回の研究発表の申込みは来年五月末日締切りです。三月に改めて募集のお知らせをいたします。

今回の会場は、福田耕介運営委員の所属する東京都調布市の白百合女子大学で行われます。遠藤周作が「ひよこ」とニックネームをつけた慶應義塾大学時代の同窓生で、後に修道女となって白百合女子大学の教壇に長く立ち、遠藤周作と交流があった松井千恵氏の講演を予定しています。

多くの学会員が集い、充実した研究発表がなされ、盛会となりますことを期待します。

▼ 来年は、韓国日本キリスト教文学会二〇一四年度大会（大会主題・遠藤文学）に本学会も協力することになりました。日程等、詳細が決まりましたら報告します。多くの学会員と参加できればと願っています。

▼ 笠井代表はまだしっかりと歩かれるのが難しいため、今回も大会にご参加できませんでしたが、それ以外はお元気で、遠藤作品の研究をさらに精力的に進められ、また、機関誌の充実、大会の盛会を喜んでおられます。

▼ 最後に学会員の方々にご協力をお願いします。機

関誌の「遠藤周作参考文献目録及び研究展望」は、今回より笛木氏が担当され、充実した内容でしたが、次回も笛木氏が担当されますので、遠藤周作に関する、会員方々の論文はもちろん、入手できた参考文献についての情報を、笛木氏に直接、お知らせください。また、これまで参考文献目録について、遺漏のある場合も、笛木氏にご連絡お願いします。

そうした学会員間の情報交換を目的に、今年度も学会員名簿を配布いたします。記載されている個人情報への保護には十分のご配慮をお願いします。

遠藤周作学会 事務局

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

ノートルダム清心女子大学 山根道公研究室

TEL: 086 (252) 3129

E-mail: yamane@post.ndsu.ac.jp